

学校だより



春里



平成28年度 11月1日号

学校教育目標

「生きる力」の育成

【目指す生徒像】

- ・笑顔で元気にあいさつする生徒
- ・礼儀正しく、仲良く助け合う温かい心の生徒
- ・進んで学習し、運動を好む生徒
- ・自ら考え、夢を持って行動する生徒

さいたま市立春里中学校

## 「自尊意識」

校長 松井秀史

4月に3年生で実施した「全国学力・学習状況調査」の結果が出てきました。国語と数学の「教科に関する調査」に関しては全体的には「特別高くも無く低くもなく」と言ったところです。これから細かい分析を行い、今後の春里中学校の学習に活かしていきたいと考えています。本調査ではもう一つ「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」があり、本校の生徒の特徴（3年生だけでなく1、2年生にも同じような傾向がみられます）がよくわかる結果となりました。全体的には生活習慣や学習環境は良好な生徒が多いようです。あくまでも平均値等ですので各々に関しては個別に見ていく必要はありますが、春里中学校の教育の在り方について参考にしていこうと考えています。顕著なところでは、「失敗を恐れなくて挑戦する」と答えた生徒が全国平均69.6%さいたま市平均74.3%のところ春里中生平均78.5%でした。また、「自分には良いところがある」と答えた生徒が全国平均69.3%市平均77.3%のところ春里中生平均83.1%と、とても高い数字となりました。現在日本の若者に足りないと言われている「自尊意識」が春里中生にはしっかりと育っていることが分かります。他にも「家で計画を立てて勉強している」「家の人と学校でのことについて話をする」などの学校だけでは教育しきれないところを家庭で協力いただいていることも数字となって表れています。ただ「朝食を食べていない」生徒が若干多く「新聞を読んでいる」生徒は全国平均よりも大幅に少ないという傾向もわかりました。これらを参考にしてこれからも学校と保護者との連携を取りながら生徒たちの成長につなげられるよう御協力よろしくお願いたします。

### 運動部新人戦

運動部活動のさいたま市中学校新人体育大会が終わりました。各会場で春里中生らしいさわやかな



パフォーマンスを見せてくれたようです。新人戦に向けた努力と本番で見せた頑張りをこれからの学校生活に役立ててくれると期待しています。中学生の本業は「勉強」ですが、それだけではいけません。運動部に限らず「部活動」での経験は、人生の中で大いに役立つ経験・知識を得ることができます。学校内の部活でなく学校外での習い事でも結構ですが、中学時代に何かに思い切り打ちこむ経験は貴重なものです。新人戦で満足せず、次の大会に向けての努力が始まっています。

### 合唱コンクール

10月22日（土）に「合唱コンクール」を実施しました。市民会館という大きな舞台に立ち、緊張する中、本番でしっかり歌えたことは、生徒たちにとって貴重な経験となったようで学級の結束もより一層強くなったようです。どの学年も頑張っていました。やはり1年生より2年生、2年生より3年生の合唱の方が上手でした。「一年間でこんなにも成長するのか！」と驚きでいっぱいになりました。特に3年生が堂々とクラスが一つになって歌い上げる姿は、もう「子供」とは呼べない「頼もしい若者たち」の立派なものでした。本校の誇るべき先輩学年として、1・2年生への手本となってくれました。金賞等にかかわらず3年生全体が立派にやり遂げました。ありがとう。1、2年生もよく練習し作り上げていて素晴らしい歌声でした。春里中学校として自信と誇りを持てるレベルの高い合唱コンクールとなりました。



### ちょっと一言・・・

新人戦や合唱コンクールを通して「自尊意識」をしっかり持ち、夢に向かって努力を続ける春里中生のがんばりが伝わってきました。保護者、地域の皆さまと協力してもっともっと・・・。